防　府　市　新　庁　舎

実施設計（概要版）

令和３年10月

防　府　市

目次（ページ）

(1) 基本理念・設計方針	1
(2) 計画概要	2
(3) 事業スケジュール	3
(4) 配置計画	3
(5) 階層構成	4
(6) 平面計画	5-6
(7) 市民窓口イメージ	7
(8) ユニバーサルデザイン	7
(9) 構造計画	8
(10) 設備計画	9

（1）基本理念・設計方針

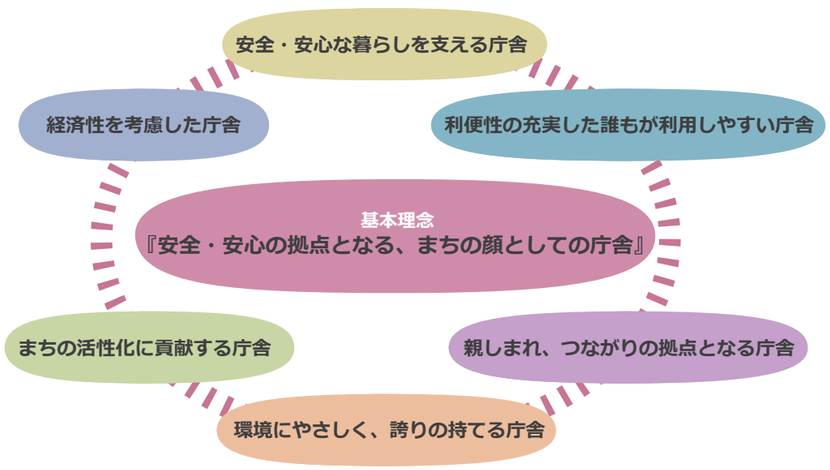
■基本理念

新庁舎の建設は、防災拠点機能の確保のみならず、中心市街地の一体的なにぎわいを形成し、まちづくりを推進していくための第一歩となる事業です。
これからの庁舎建設における目指すべき姿として、基本理念を次のように定めることとします。

安全・安心の拠点となる、まちの顔としての庁舎

新庁舎建設における目指すべき姿については、幅広い視点から十分に検討し、計画していくことが大切であるため、基本理念を支える６つの柱を基本方針として定めることとします。

基本理念を支える６つの柱【基本方針】



■設計方針

1. 市民の生命と財産を守る庁舎

・大地震発生時にも防災拠点施設として機能を維持できるよう、建物に伝わる地震の揺れを軽減し、被害を最小限に抑えるため、免震構造を採用します。

・天井や空調機といった非構造部材の落下防止のため、執務室などの大空間は無天井化するとともに、避難動線等は天井材を軽量化した計画とします。

・災害発生時のライフライン等のエネルギー供給の断絶に備え、バックアップ設備を搭載し、業務停止することのない災害に強い庁舎を実現します。

・市民の個人情報を適切に管理できるセキュリティの高い庁舎とします。

2. 時代の変化に対応できる庁舎

・執務室の間仕切りを極力なくしオープンな空間とすることで組織や職員間のコミュニケーション促進を図るとともに、デスクなどの什器は動かさず、人が動いて対応するユニバーサルレイアウトの採用により将来の組織改編にも柔軟に対応できる計画とします。

・作業効率が高まる執務環境を整えるとともに、可能な限り会議室、打合せコーナー、倉庫の共有化を図り、限られたスペースを最大限有効活用できるゾーニング計画とします。

・将来、議会フロアに転用可能なスペースを確保します。

3. わかりやすく便利な庁舎

・市民利用窓口を低層階に集約するとともに、吹抜け空間により各階窓口への視認性を高めます。分かりやすい各課配置とスムーズな動線処理による窓口サービスの提供を行います。

・庁舎棟メイン玄関付近にコンシェルジュ機能を持った総合案内カウンターを設置します。ローカウンターの窓口の採用、ユニバーサルデザインへの対応、分かりやすいサインにより、誰もが利用しやすい庁舎とします。

・立体駐車場の新たな整備と、分散する駐車場の集約により駐車台数を増やすとともに、２階からも庁舎内に直接アプローチできる動線を整備します。

4. 機能的でエコな庁舎

・庁舎棟は整形な形状とすることで、面積効率を高め、適切な柱配置により合理的で無駄のないスペース利用を計画します。

・防府市の気候を検証しながら、自然採光、自然換気、などの自然エネルギーを積極的に活用し、省エネルギー化に努めるとともに、環境負荷を軽減し、地球環境に配慮した庁舎とします。

・長期的なコスト削減のため、維持管理しやすく耐久性の高い部材や機器を採用した計画とします。

・議会関連スペースは耐震性のある既存建物を継続利用し、全体事業費を削減します。

5. 防府らしさが感じられる庁舎

・内装材やインテリア家具には県産木材（佐波川流域等）を取り入れた計画とします。

・市民だけでなく、訪れた人々全てに本市の歴史や文化等の特徴や魅力を発信する情報展示スペースを計画します。キッズスペースや市政情報コーナーを兼ねたラウンジも併設し、市民が気軽に立ち寄り利用できる憩いの場を提供します。

・建物周囲には、既存水路を活かしながら、通り抜けできる、桑山公園に繋がる緑豊かな散策路を整備します。

・庁舎棟の最上階には災害時に監視塔の役割も果たす、市内を 360 度眺められる、展望回廊を整備し、市民に開放します。

（2）計画概要

■ 敷地概要

建設地	山口県防府市寿町７番１号他
敷地面積	28,384.59 ㎡
接道状況	県道 185 号　防府停車場向島線 (東側)　　道路幅員 :25.0m

■ 法定規制

用途地域	商業地域
建蔽率 / 容積率	80%/400%
日影規制	敷地内：なし　　北側道路規制有：5m5 時間　10m3 時間　GL+4m
防火指定	防火地域
斜線制限	道路：あり、隣地：あり、北側：なし
高度地区	指定なし
都市計画道路	大林寺伊佐江線（3・5・32）
その他	駐車場整備地区

■ 建物概要

	庁舎棟 (県施設含む)	**福祉棟 (県施設含む)**	**議会棟 (継続利用)**
主要用途	庁舎	庁舎	庁舎
構造種別	鉄骨造 (基礎免震)	鉄骨造	鉄筋コンクリート造
建築面積	2,551.50 ㎡	1307.64 ㎡	1,108.15 ㎡
延床面積	17,713.76 ㎡	2,047.76 ㎡	2,782.37 ㎡
階数	地上 9 階※/ 地下なし	地上 2 階	地上 4 階
建物高さ	40.25m	12.69m	16.7m

※9 階は機械室

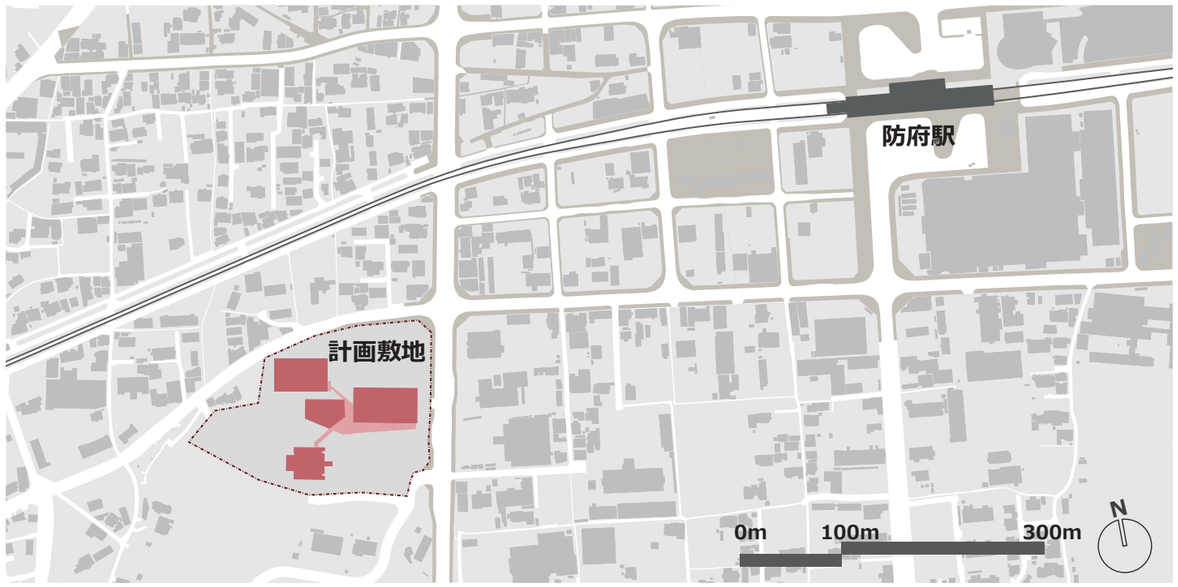
	立体駐車場 (県施設含む)	**大型車庫**
主要用途	車庫・倉庫	車庫
構造種別	鉄骨造	鉄骨造
建築面積	約 2,000 ㎡	約 155 ㎡
延床面積	約 8,000 ㎡	約 155 ㎡
階数	地上 4 階 / 塔屋 1 階	地上 1 階
建物高さ	約 16.0m	約 4.5m

■ 駐車場概要

平面駐車場	約 70 台	来庁者駐車場 合計　約 240 台
思いやり駐車場	約 5 台	
立体駐車場	約 300 台	
大型車庫棟	約 5 台	
西側駐車場	約 140 台	
南側駐車場	約 90 台	合計　約 610 台

■ 鳥瞰イメージ

■ 位置図



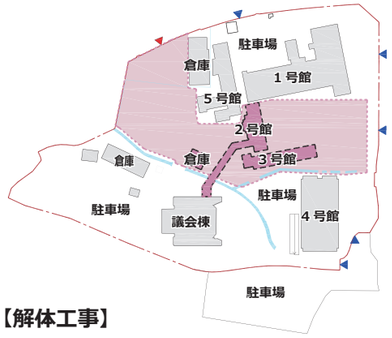
縮尺 1:6000

（3）事業スケジュール

予定事業スケジュール

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
設計	基本設計	実施設計						
申請		大臣認定・計画通知等						
解体工事			準備・解体工事			解体工事		
新築工事				新庁舎・福祉棟建設工事		移転・開庁		
立体駐車場外構工事						立体駐車場・外構工事		

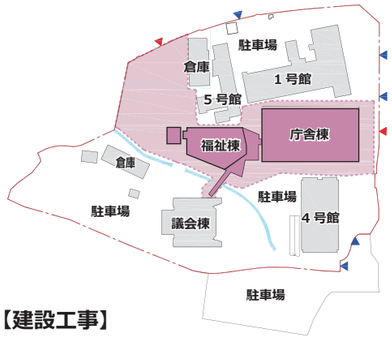
市役所機能を維持しながらの建設工事



【解体工事】

・解体前準備工事として、工事期間中も継続利用する既存庁舎のインフラ配管配線を付け替える工事をします。

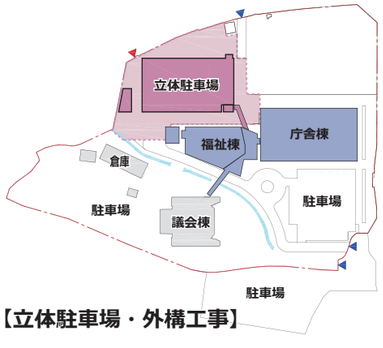
・２号館、３号館の解体を行います。（2、３号館機能は県総合庁舎等に事前移転）



【建設工事】

・仮設庁舎を建設せずに、行政サービスを継続しながら庁舎棟、福祉棟、既存議会棟への連絡ブリッジを同時に建設します。

・令和６年度に新庁舎の供用開始を目指します。



【立体駐車場・外構工事】

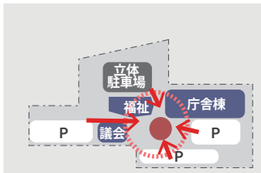
・１号館、４号館、５号館等を解体したのちに、立体駐車場を建設するとともに、平面駐車場、駐輪場、植栽を含む建物周囲の外構を整備します。

（4）配置計画

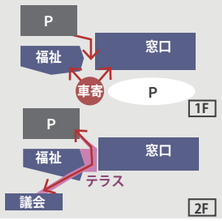
敷地全体をスムーズに繋ぐ配置計画

・新庁舎の建物配置は現庁舎の機能を維持したまま建替えできる位置とし、既存の議会棟、駐車場からもアクセスしやすい場所にメイン玄関を設けます。

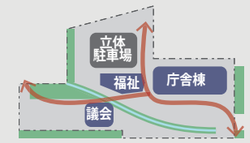
・市庁舎敷地の高低差を活かし、庁舎棟、福祉棟、立体駐車場、議会棟を２階レベルで屋外テラスでつなぐことにより利便性を向上させ施設同士の連携を強化します。



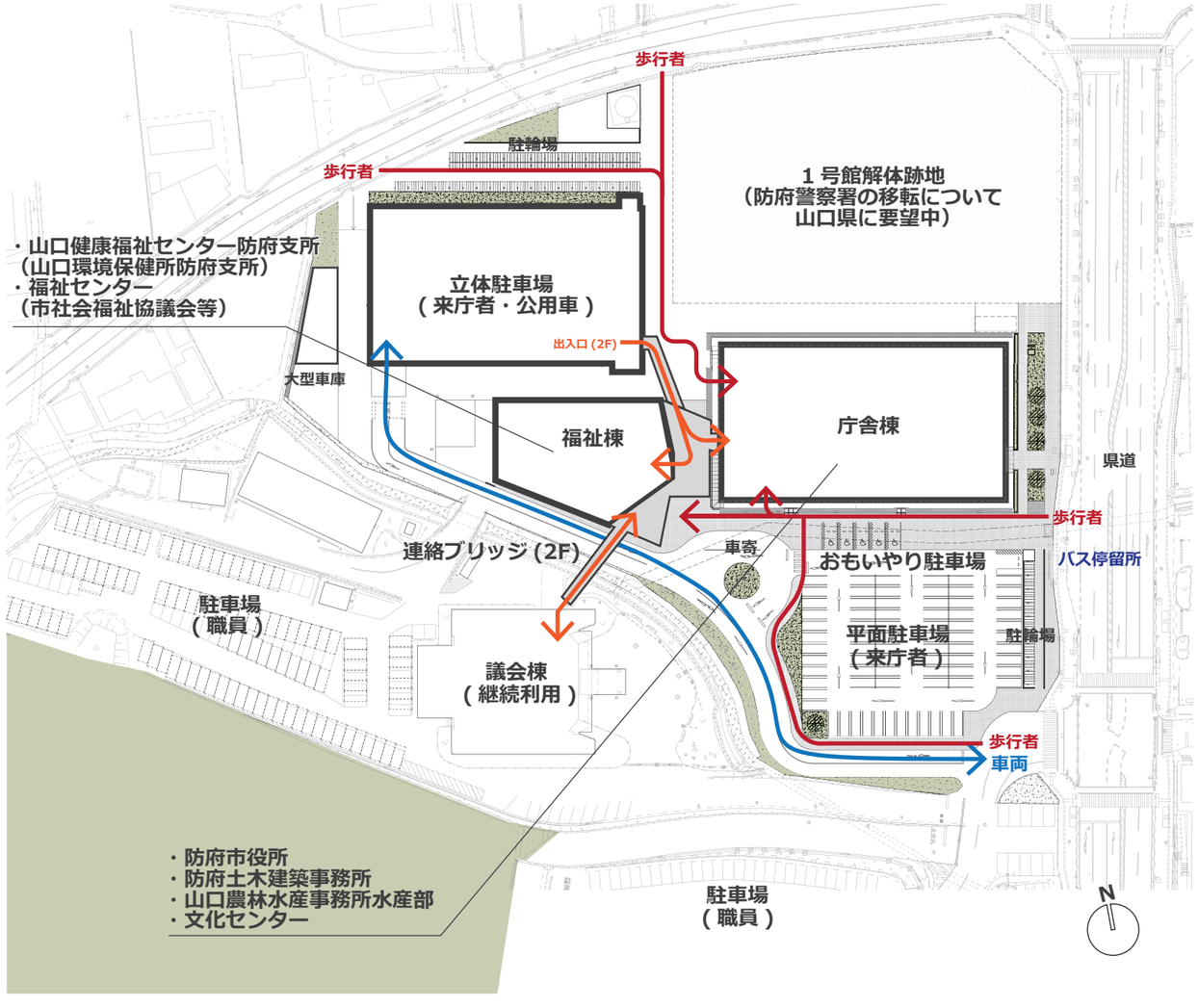
メイン玄関は建物中央へ
各駐車場から等距離でスムーズにアクセスできる場所にメイン玄関と車寄を配置します。



１，２階のダブルアクセス
２階に屋外テラスを設け、高低差のある敷地において複合化した各施設へのアクセスがスムーズな各棟の出入口を配置します。
災害時にも庁舎棟、福祉棟の連絡連携を密にします。



通り抜け街路の整備
ふらりと立ち寄りたくなる緑のプロムナードや桑山公園へと繋がる街路散策ルートを整備します。



（5） 階層構成

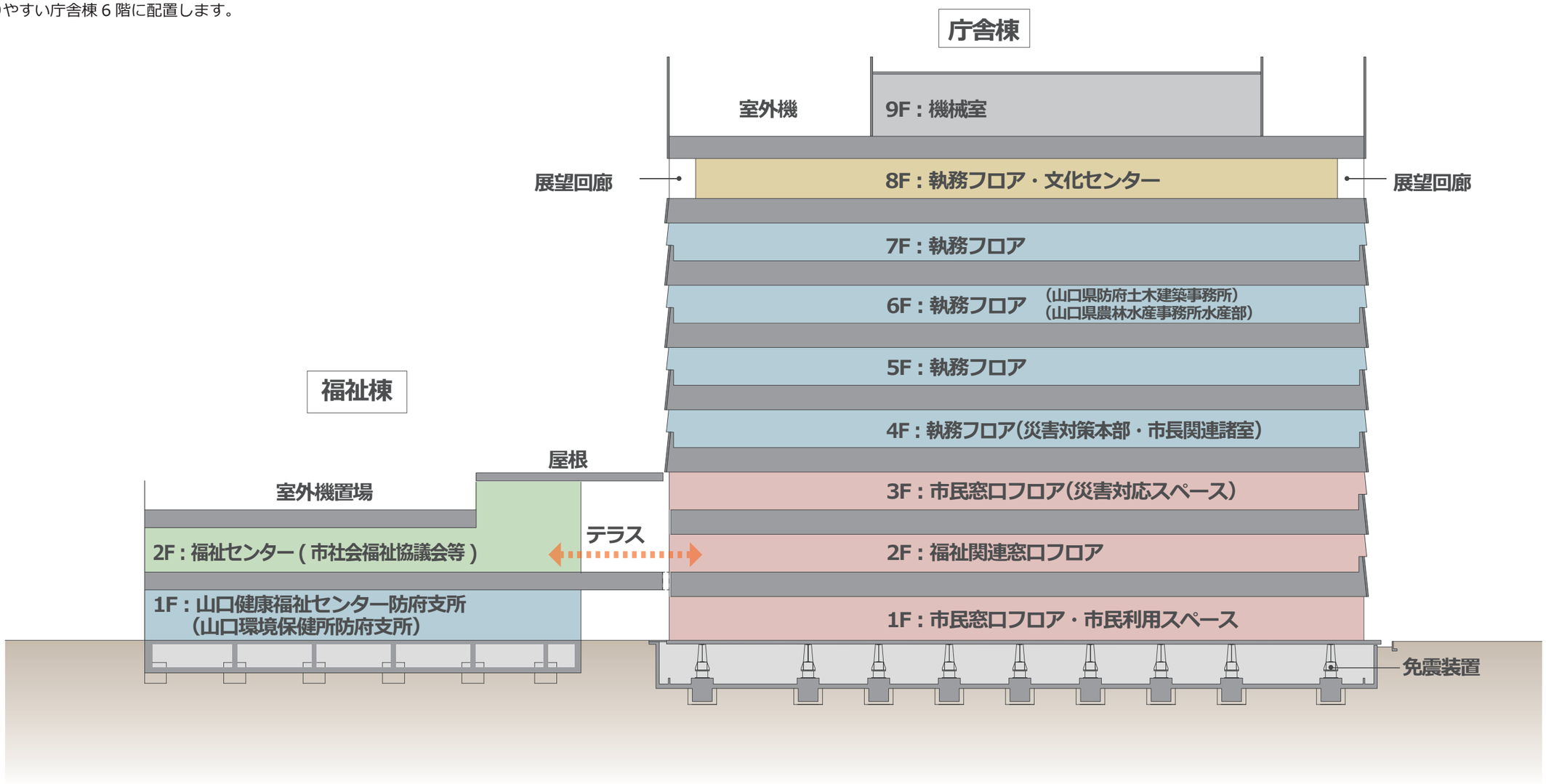
市民の利便性と組織の連携を重視したフロア構成

・市民利用の多い窓口は１～３階を中心に低層階に配置し、利便性の向上を図ります。

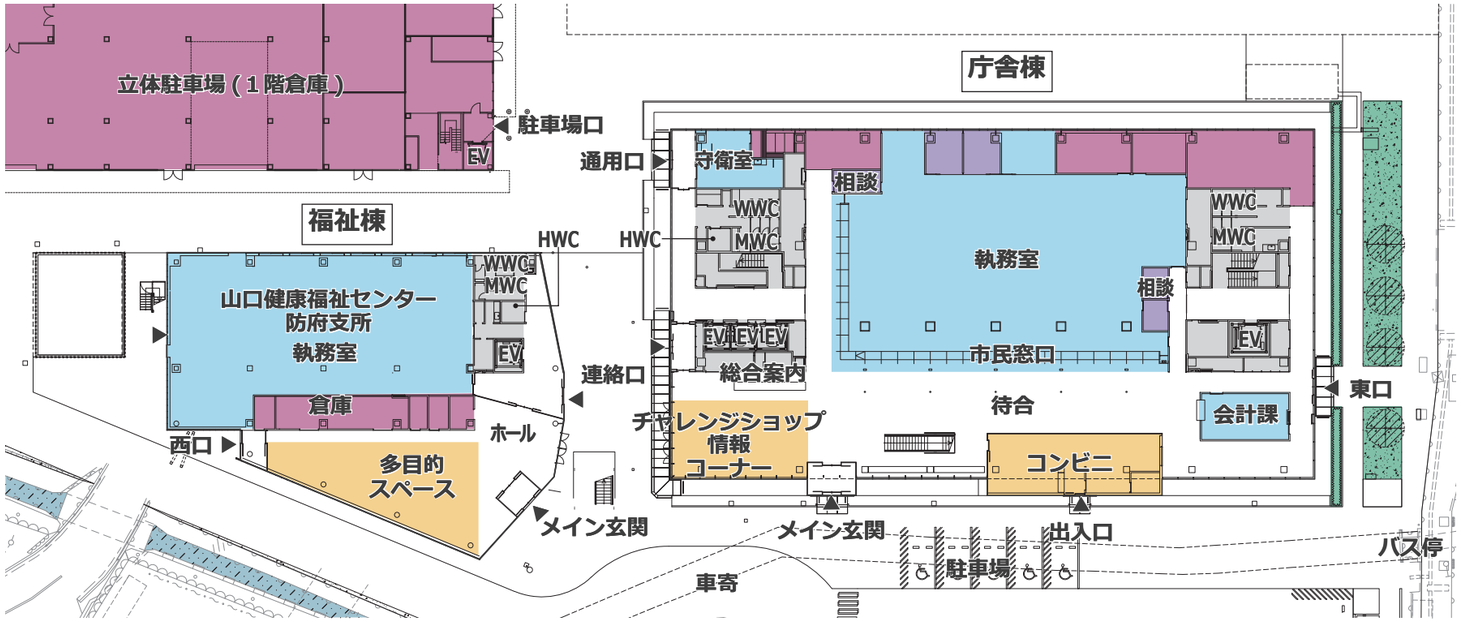
・庁舎棟２階の福祉関係窓口と福祉棟２階の社会福祉協議会、立体駐車場を屋根のあるテラスでつなぎ、段差なく移動できるようにします。

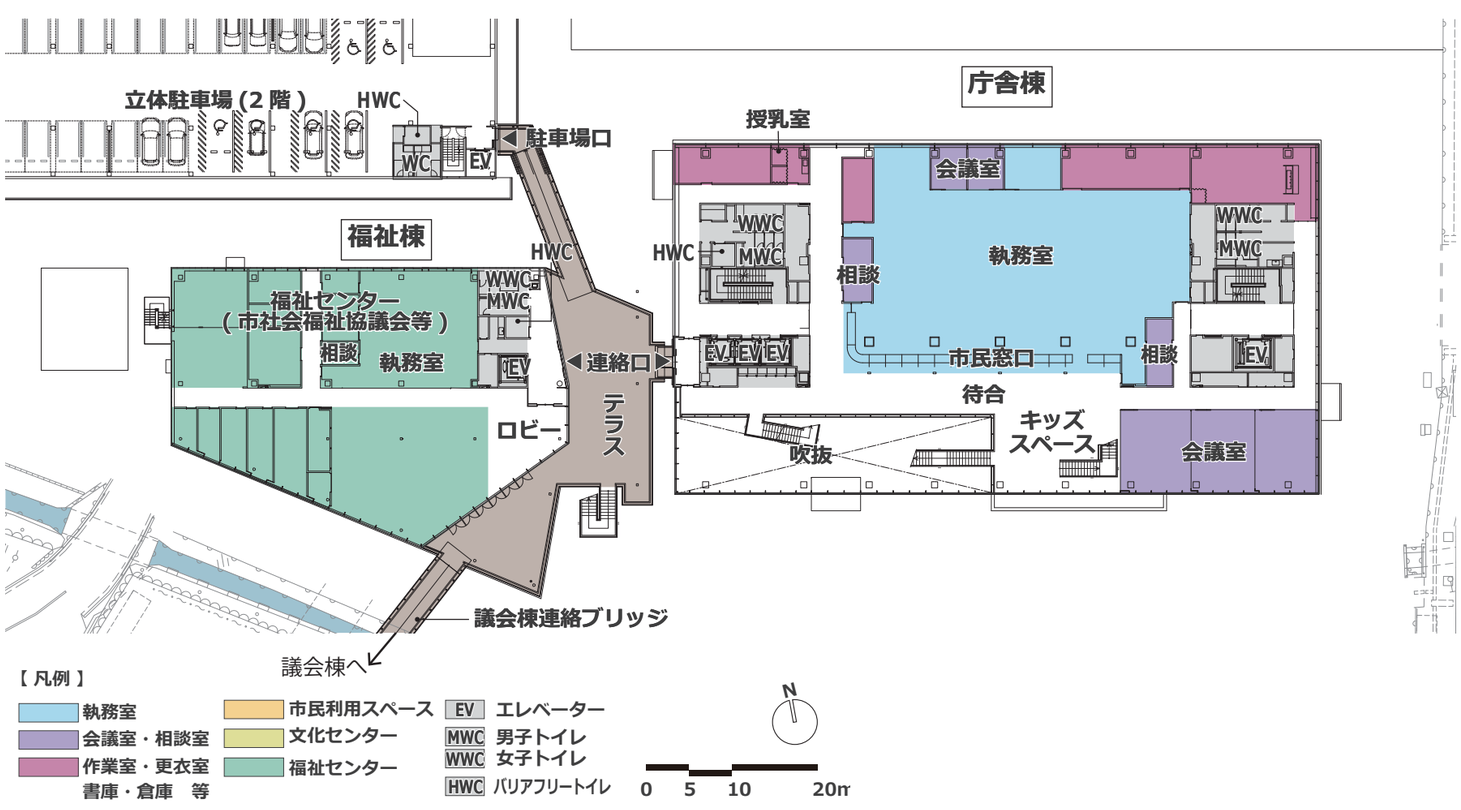
・災害対策本部や市長関連諸室は災害時における迅速な指示と初動対応を可能とするため庁舎棟中央階の４階に配置します。

・県の山口健康福祉センター防府支所（山口環境保健所防府支所）はプライバシーに配慮し福祉棟１階に配置します。
　また、山口県防府土木建築事務所、山口県農林水産事務所水産部は、市の関連部署と連携が取りやすい庁舎棟６階に配置します。



（6）平面計画





1 階構成

庁舎棟

・庁舎棟南側メイン玄関そばには、コンシェルジュが対応する総合案内、防府をアピールする情報コーナーとともにチャレンジショップ等の空間を計画します。
・市民関連窓口は待ち時間が少なく、スムーズに手続きができるように、十分な窓口数を持つロングカウンターを設置し、手続き順序に即した窓口配置とします。併せて、ゆったりとした待合スペースを併設します。
・相談室はプライバシーに配慮しながら必要に応じて配置します。
・コンビニエンスストア（売店）は窓口待合そばに配置し、イートスペースの設置も検討します。休日の閉庁時利用に配慮して外部からの直接出入口を設置します。

福祉棟

・県の山口健康福祉センター防府支所（山口環境保健所防府支所）を福祉棟 1 階に配置し、プライバシーに配慮した計画とします。
・エントランスホールは多目的スペースとして、市民開放するとともに、期日前投票所等としても利用します。

2 階構成

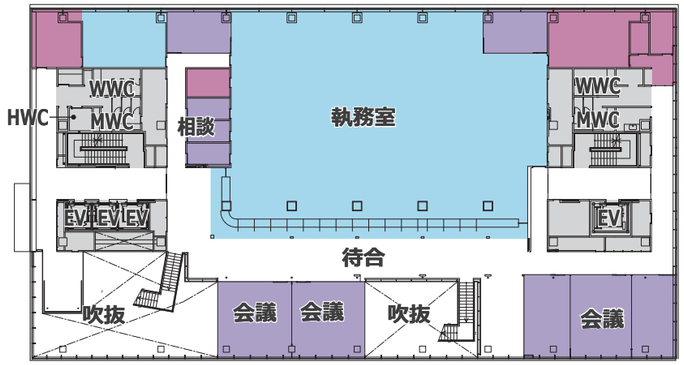
庁舎棟

・福祉関連窓口を中心に配置します。待ち時間が少なく、スムーズに手続きができるように、十分な窓口数を持つロングカウンターを配置し、キッズスペース、授乳室を設置します。
・吹抜け空間により、1 階から直接 2 階窓口が視認できるわかりやすい計画とします。直接アプローチできる階段動線を併せて整備します。
・相談室はプライバシーに配慮しながら必要に応じて配置します。
・会議室は繁忙期の臨時窓口設置等も考慮します。
・福祉棟や立体駐車場、議会棟へは屋外テラスを通じて 2 階レベルで移動できます。

福祉棟

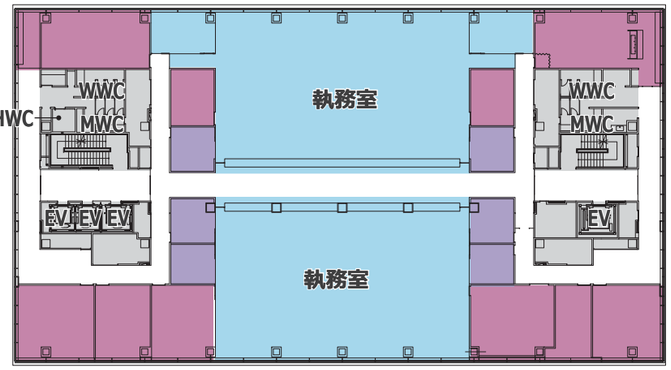
・市の福祉センター（社会福祉協議会等）を配置します。庁舎棟の 2 階福祉関連窓口利用者も気兼ねなく立ち寄ることができるように動線連携を図ります。
・災害時には、立体駐車場をボランティア活動スペースとして一体的に活動できるように配置します。

（6）平面計画



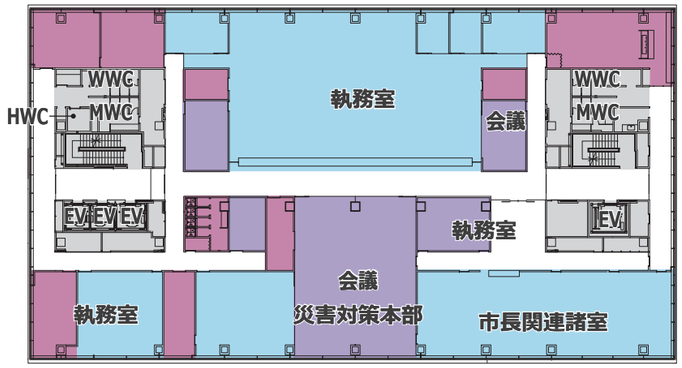
3 階構成

・市民関連窓口（税務等）を中心に配置します。
・待ち時間が少なく、スムーズに手続きができるように、十分な窓口数を持つロングカウンターを設置します。
・会議室は繁忙期の臨時窓口設置及び災害対応等も考慮します。他部署との共有化を図り、稼働率を高め、多目的に有効活用します。



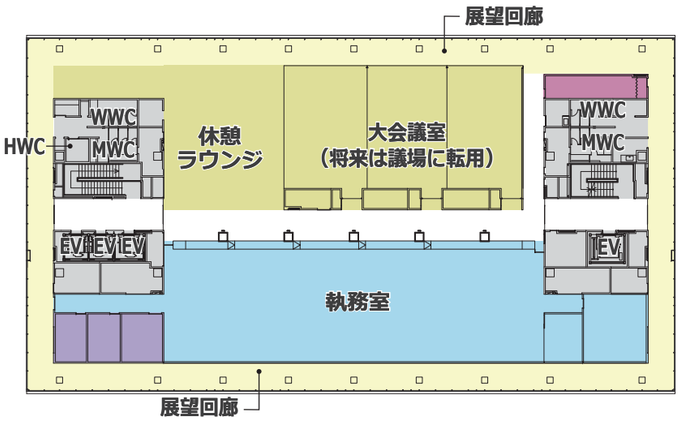
5 ～ 7 階構成（基準階）

・執務室は整形なワンルームとし、部署改編に伴うレイアウト変更にも容易に対応できる家具配置とします。
・地震時における天井からの落下物をなくすため無天井化を図るとともに省エネ効果の高い床下空調方式を採用します。
・各階にバリアフリートイレを配置します。
・来庁者エレベーターは 3 台対応とし、高層階の待ち時間も最小化します。荷物用エレベーターは県道からのアクセスがしやすい東側に 1 台設置し、職員用のバック動線としても活用します。
・県の土木建築事務所及び農林水産事務所水産部が入居する 6 階フロアは、 市役所利用者との明確なセキュリティ管理区画ラインを設定します。



4 階構成

・災害対策本部となる会議スペースを含む市長関連諸室を配置します。災害時にはエレベーターを使わずとも階段で 1 階からアクセスが可能です。
・災害時の指揮命令系統確保のため、ライフラインのバックアップ (非常用電源等) を重点的に配置します。
・大小様々な会議開催が可能なスペースを確保します。



8 階構成

・将来、議場関連諸室に転用することを想定したフロア計画とします。
・市の文化センター（大会議室等）を配置します。閉庁となる休日や夜間の市民利用も想定した、動線管理、セキュリティ管理を行います。
・休憩ラウンジや市内を一望できる展望回廊を整備し、市民の憩いの場として多目的利用を促します。市内を 360 度の眺望が楽しめる観光スポットとしての活用も検討します。
・将来議場に転用できる大きさを持つ大会議室は多目的な利用を考慮し分割利用できるようにし、音響設備を設置します。

【 凡例 】

執務室
会議室・相談室
作業室・更衣室
書庫・倉庫　等
市民利用スペース
文化センター
福祉センター
EV エレベーター
MWC 男子トイレ
WWC 女子トイレ
HWC バリアフリートイレ

N
0　5　10　20m

（7）市民窓口イメージ

1 階から市民窓口を見る

2 階屋外テラス

（8）ユニバーサルデザイン

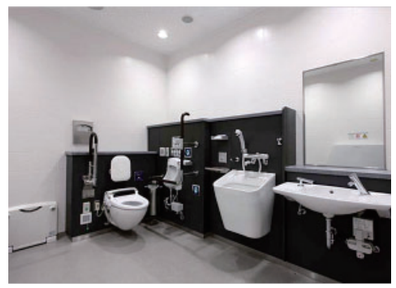
■誰もが安全安心に利用できる庁舎

・利用者の年齢、障害の有無、性別、国籍に関わらず安全に利用できるバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した庁舎とします。
・窓口カウンターはローカウンターを主体として計画します。
・待合スペースは十分な広さを確保し、車いす利用者やベビーカー利用者にも配慮します。
・個人情報を扱う窓口カウンターには、横や背後からの視線を遮るパネル等を設置します。
・プライバシーに関わる相談が安心して行えるよう、個室の相談室を充実させます。

窓口カウンターのイメージ

■ 障害のある方、車いす使用者への配慮

・メイン玄関付近に思いやり駐車場を配置します。車いす使用者でも不便なく使用できるよう、窓口カウンターの高さや廊下の幅、エレベーターの大きさ、家具レイアウト等に配慮します。
・メイン玄関から総合案内までの経路に視認性の良い誘導ブロックを設置します。
・聴覚障害者に配慮し、ヒアリングループ等の設置を想定します。
・すべての階にバリアフリートイレを設置し、オストメイトや大人用簡易ベッド等を適宜整備します。



バリアフリートイレイメージ

■ お子さま連れの方への配慮

・授乳室（授乳・オムツ替え室）を適宜設置します。
・キッズスペースを窓口付近に設け、小さなお子さま連れでも安心して用件を済ますことができるように配慮します。

キッズスペースイメージ

■ サイン計画

・施設全体のサインの形状、記号、書体、色彩等のデザインを統一し、来庁者が認知しやすく目的地にスムーズに誘導する計画とします。
・サイン表記は直感的にわかりやすいピクトグラム（絵文字）の併用により国際化に対応した表示を行います。
・視覚障害や色覚特性等に配慮し、点字の併用や色による区分を工夫し、認知しやすいデザインとします。
・コンシェルジュのいる総合案内を１階のメイン玄関付近に配置し、サイン（ハード）と人（ソフト）の組合せにより、わかりやすい施設案内を行います。

分かりやすいピクトグラムのイメージ

（9）構造計画

構造計画

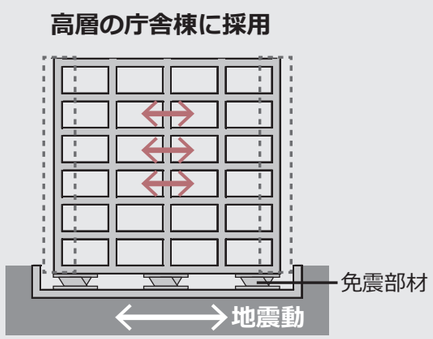
・市庁舎は大地震時などの災害時に機能を保持する必要のある公共建築物であることから、この施設の性質を踏まえ、耐久性、耐震性を重視することは勿論のこと、同時に経済性にも配慮した計画とします。

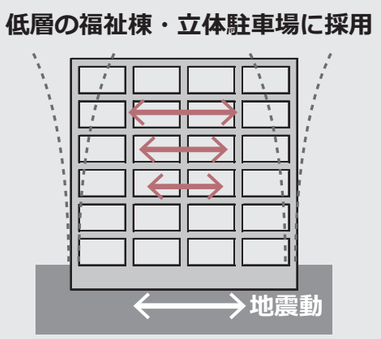
・庁舎棟及び福祉棟の耐震安全性の指標は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に準拠し、最高水準の耐震性能（構造体；Ⅰ類（重要度係数 1.5）、非構造部材；A 類）とし、大地震後も構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とします。立体駐車場棟の構造体についてはⅡ類とします。なお、建築非構造部材はＢ類、建築設備は乙類とします。

・庁舎棟は高層棟であることから、地震時の揺れを抑え、大地震後も業務継続が可能な免震構造（基礎免震）とし、福祉棟、立体駐車場は低層建物であることから耐震構造とします。

・庁舎棟の上部架構は、大スパンにより内部空間のフレキシビリティを高められ、かつ、工期短縮を図ることができる鉄骨造とします。

・地盤調査の結果によると、敷地の基盤は花崗岩で、その上に河川により運搬・堆積された砂礫や粘性土、砂質土が分布しています。高層となる庁舎棟は建物が重いことから、基礎形式は花崗岩を支持層とします。低層となる福祉棟は建物が軽いことから、花崗岩の上の層である砂礫層を支持層とし、施工性・経済性の点から、庁舎棟は杭基礎、福祉棟・立体駐車場は柱状改良基礎を採用します。





	免震構造	耐震構造
概要	建物と地面を 免震装置で切り離す	柱や梁などの構造体の強度を高め 地震エネルギーを吸収
特徴	地震時に建物の損傷を確実に 軽減できる	低コストで高い耐震性を 確保できる

構造計画概要

【庁舎棟】

庁舎棟は高層建物であることから、地震時の揺れを抑え、大地震後も業務継続が可能な免震構造（基礎免震）を採用

①建物規模：地上 9 階、地下なし

②構造種別：【上部構造】鉄骨造

【下部構造】鉄筋コンクリート造

③免震形式：基礎免震（１階床下）

④構造形式：ラーメン構造

⑤基礎形式：杭基礎　（支持層は GL-16m 付近の N 値 50 以上の風化花崗岩）

【福祉棟】

福祉棟は建物自体が地震に耐えうる耐震構造を採用

①建物規模：地上 2 階、地下なし

②構造種別：【上部構造】鉄骨造

【下部構造】鉄筋コンクリート造

③構造形式：ラーメン構造

④基礎形式：柱状改良基礎　（支持層は GL-6 ～ 8m 付近の砂礫層）

【立体駐車場】（基本設計）

立体駐車場は建物自体が地震に耐えうる耐震構造を採用

①建物規模：地上 4 階、塔屋 1 階、地下なし

②構造種別：【上部構造】鉄骨造

【下部構造】鉄筋コンクリート造

③構造形式：ラーメン構造

④基礎形式：柱状改良基礎　（支持層は GL-6 ～ 8m 付近の砂礫層）

（10）設備計画

■ 省エネルギー・環境配慮計画

・防災拠点施設として、震災時のライフライン等のエネルギー断絶に直面した場合にも業務を継続的に行うことができる機能を備えた計画とし、電源は非常用発電機の設置で、防災拠点機能に対して最大 7 日間の供給を可能とします。

・様々な災害に対応できるよう空調熱源は電気とガスを最適なバランスで組み合わせ、平常時の省エネルギー性・経済性にも配慮した計画とします。

・重要な設備機器は上層階に設置し、水害等による機器損傷を防ぎます。

・防府の気候を活かした自然採光や自然換気は勿論のこと、消費エネルギーをセンサーコントロールすることで、建物の省エネルギー化を図ります。

・高効率・高性能機器の導入等により、環境負荷の低減を図りながら室内環境の快適性を向上させ、過ごしやすい庁舎の実現を目指します。

・日常の施設運用や維持管理が容易な計画とし、運用によって更なる省エネルギー化を図ることが可能なシステムを導入します。

・建設に伴う初期費用と、光熱費を含む維持管理経費等のバランスを考慮し、長期的な視点でのコスト削減ができる計画とします。

電気設備計画概要

受変電設備	受電方式：高圧 6.6kV 2 回線受電、屋内キュービクル型受変電設備
	設備容量：変圧器　1Φ3W　300kVA×4 台
	3Φ3W　300kVA×1 台、500kVA×4 台
	スコット　300kVA×2 台
非常用電源設備	方式：ディーゼル発電機　500kVA×2 台（3 日分の燃料貯蔵）
	対象負荷：消防負荷、保安用負荷（災害対策活動を行うのに必要な負荷）
照明設備	LED 照明（人感センサ、昼光センサを適所に配置）
防災設備	非常照明・誘導灯設備、雷保護設備、拡声設備、火災報知設備

機械設備計画概要

空調設備	熱源：空冷ヒートポンプチラー、廃熱投入型吸収式冷温水機、マイクロコージェネレーションシステム
	空調方式：外調機 + 床吹出空調方式 (一部 FCU 方式)
	床輻射空調方式 (1 階エントランス)
	空冷ヒートポンプパッケージ (EHP)+ 全熱交換器方式
	ガス式ヒートポンプパッケージ (GHP)+ 全熱交換器方式
	換気設備：第一種・第二種及び第三種換気方式 (外調機、全熱交換器、給排気ファン)
排煙設備	押出排煙方式 (非常用エレベーターと非常階段の兼用附室)
中央監視	BEMS、熱源廻り・外調機・空調機などの各種制御
	熱源・空調・衛生・電気設備など各種監視・計測

衛生設備計画概要

給水設備	上水系統：受水槽 + 加圧給水ポンプ方式 (8.6m3)
	中水系統：雑用水槽 + 加圧給水ポンプ方式 (65.0m3)
給湯設備	電気温水器による局所給湯方式、ガス式給湯器による局所給湯方式
排水設備	屋内：汚水雑排水分流方式
	屋外：汚水雑排水合流方式
	緊急時汚水槽
ガス設備	都市ガス (13A)
消火設備	屋内消火栓設備、連結送水管設備、窒素ガス消火設備 (サーバー室・発電機室)

昇降機計画概要

EV　No.1,2	乗用 15 人乗　(105m/min) バリアフリー対応　停止階：庁舎棟 1 階～ 8 階
EV　No.3	乗用兼非常用 17 人乗 (105m/min) バリアフリー対応　停止階：庁舎棟 1 階～ 8 階
EV　No.4	人荷兼非常用 26 人乗 (105m/min) バリアフリー対応　停止階：庁舎棟 1 階～ 9 階
EV　No.5	乗用 16 人乗　(90m/min) バリアフリー対応　停止階：福祉棟 1 階～ 2 階